

# 「自立型まちづくり」と 環境モデル都市の取組

平成24年5月30日

豊田市長 太田 稔彦

# 豊田市の概要

## ◆人口・世帯数

- ・422, 830人(H24年4月1日現在)
- ・166, 970世帯(H24年4月1日現在)

※高齢化率 17. 4%

## ◆市の面積

- ・918. 47km<sup>2</sup>(愛知県の約18%)

※森林が占める割合は約70%

## ◆製造品出荷額等

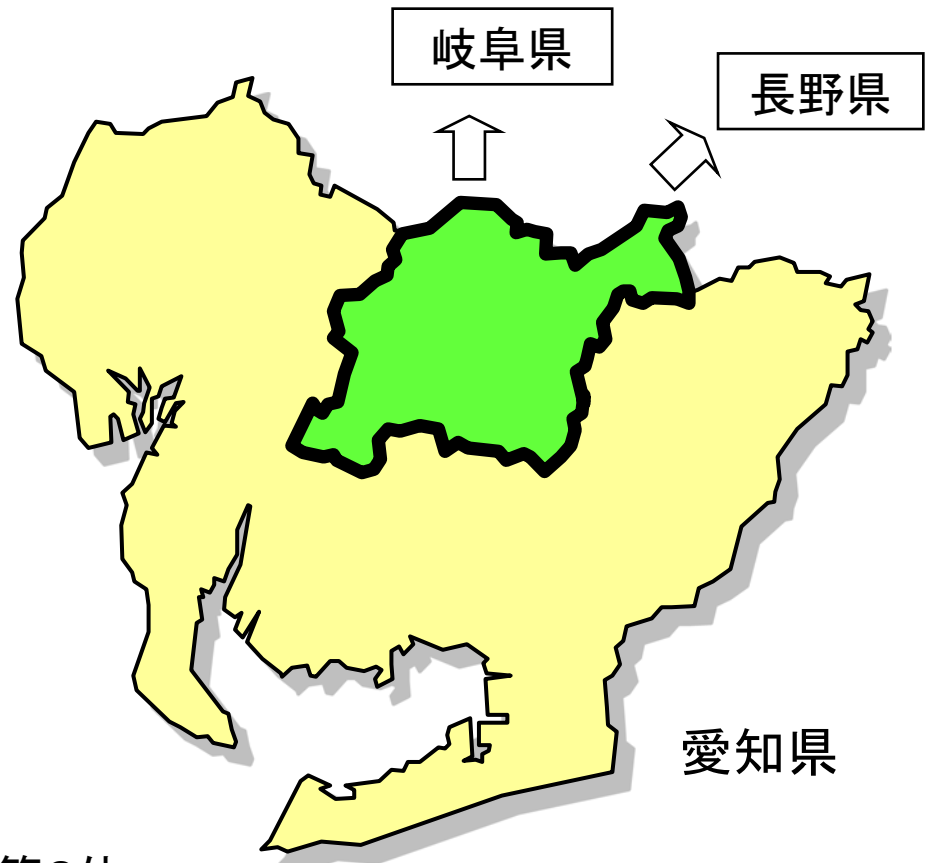
- ・9兆円超(H21年末)は全国第1位

## ◆県内有数の農業地帯

- ・米の収穫量13, 600トンは県内第1位
- ・モモ、ナシの収穫量は県内有数
- ・シンビジウムの生産量110, 000鉢は県内第2位

## ◆財政力指数

- ・1. 10(H23年)

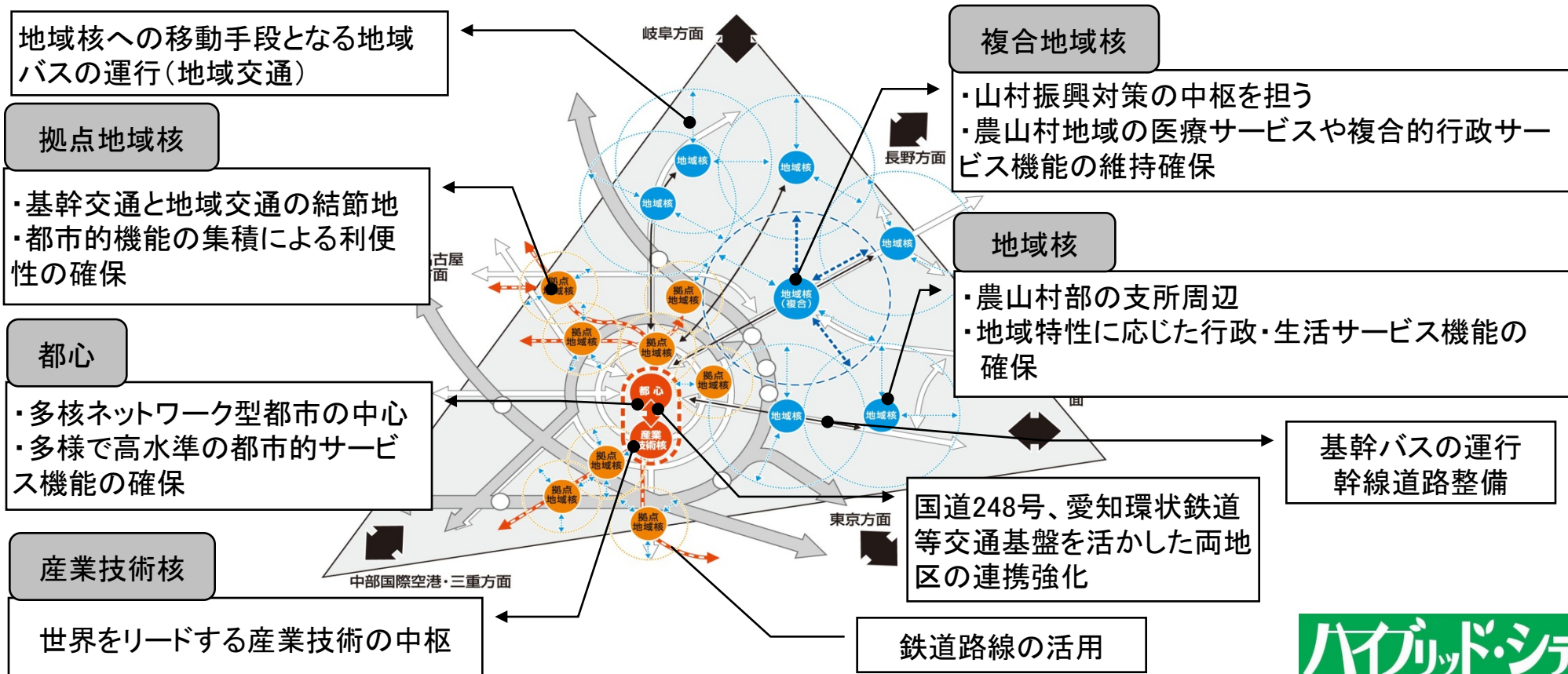


# 第7次総合計画（H20～29）基本構想

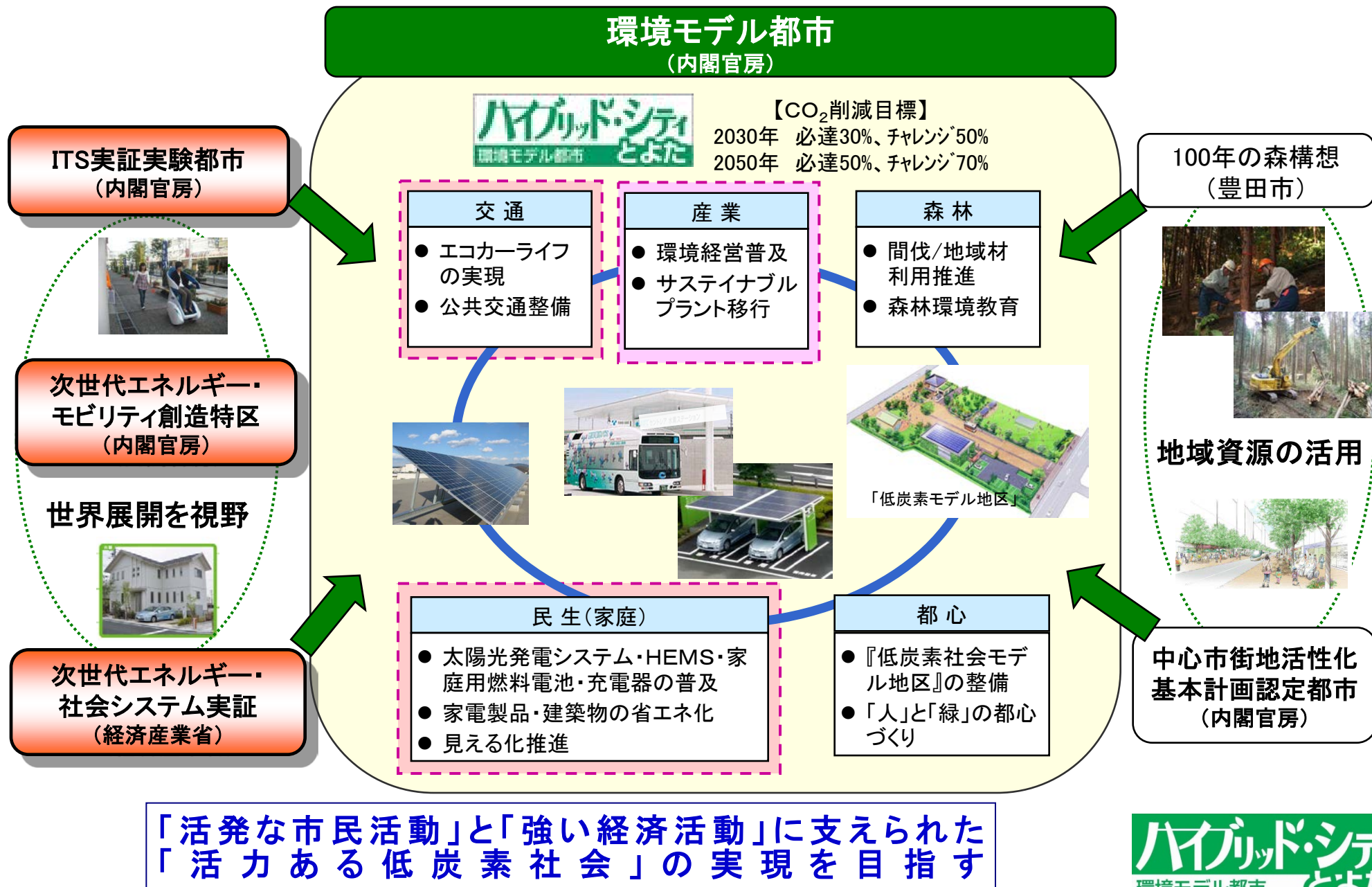
平成17年4月の合併を踏まえた“まちづくりビジョン”

◆将来都市像 「人が輝き 環境にやさしく 躍進するまち・とよた」

◆土地利用構想 「多核ネットワーク型都市構造」



# 環境モデル都市「ハイブリッドシティ とよた」の取組



# スマートコミュニティの実現に向けて、官民一体で取組を推進

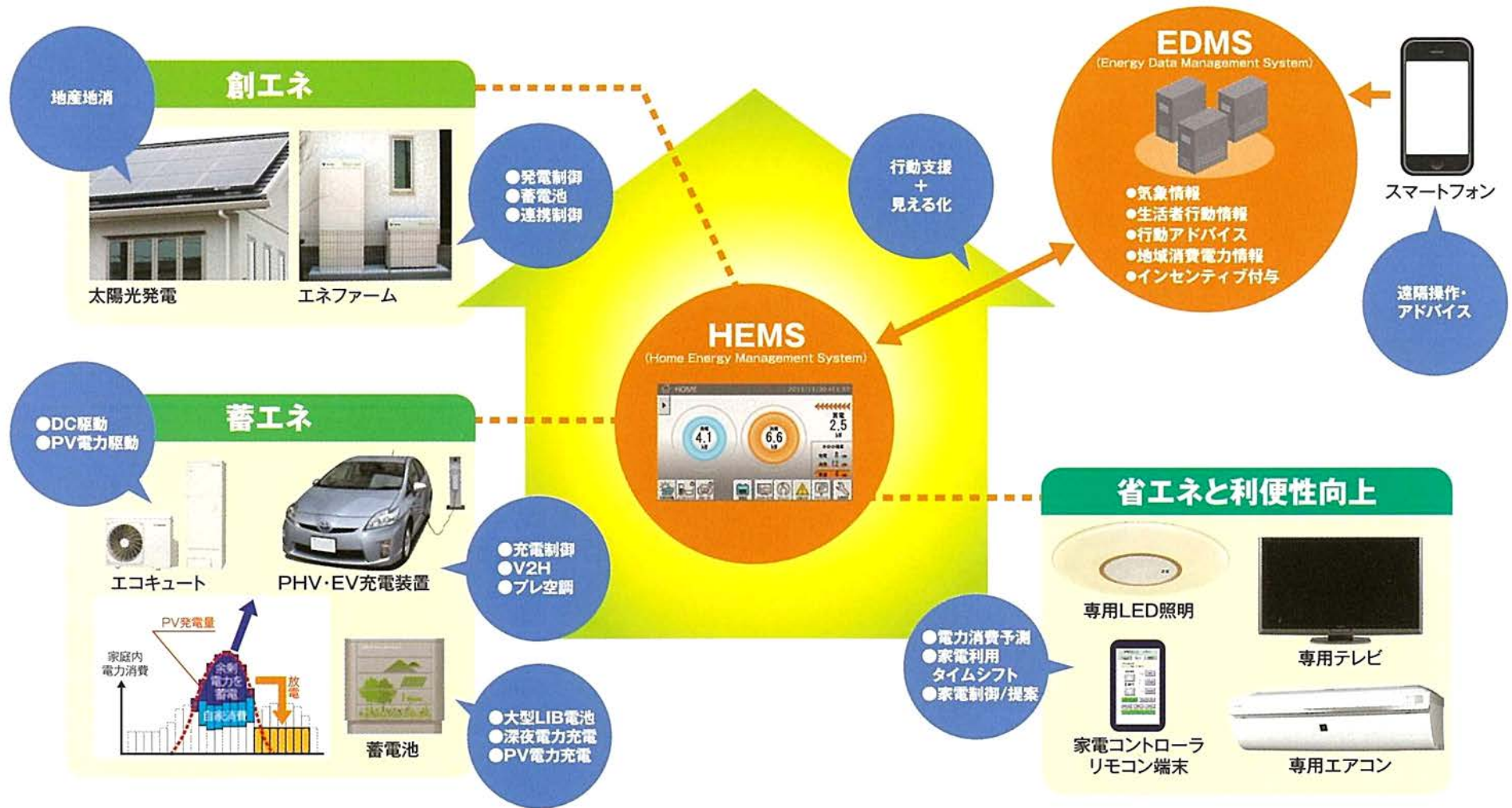
## ～次世代エネルギー・社会システム実証～



社会全体でエネルギー利用を最適化し、無理なく、無駄なく、快適な暮らしを提供

**ハイグッド・シティ**  
環境モデル都市 **とよた**

# ① 家庭内エネルギー利用最適化



目標：住宅単体でCO<sub>2</sub>排出量を70%以上削減（2005年比）

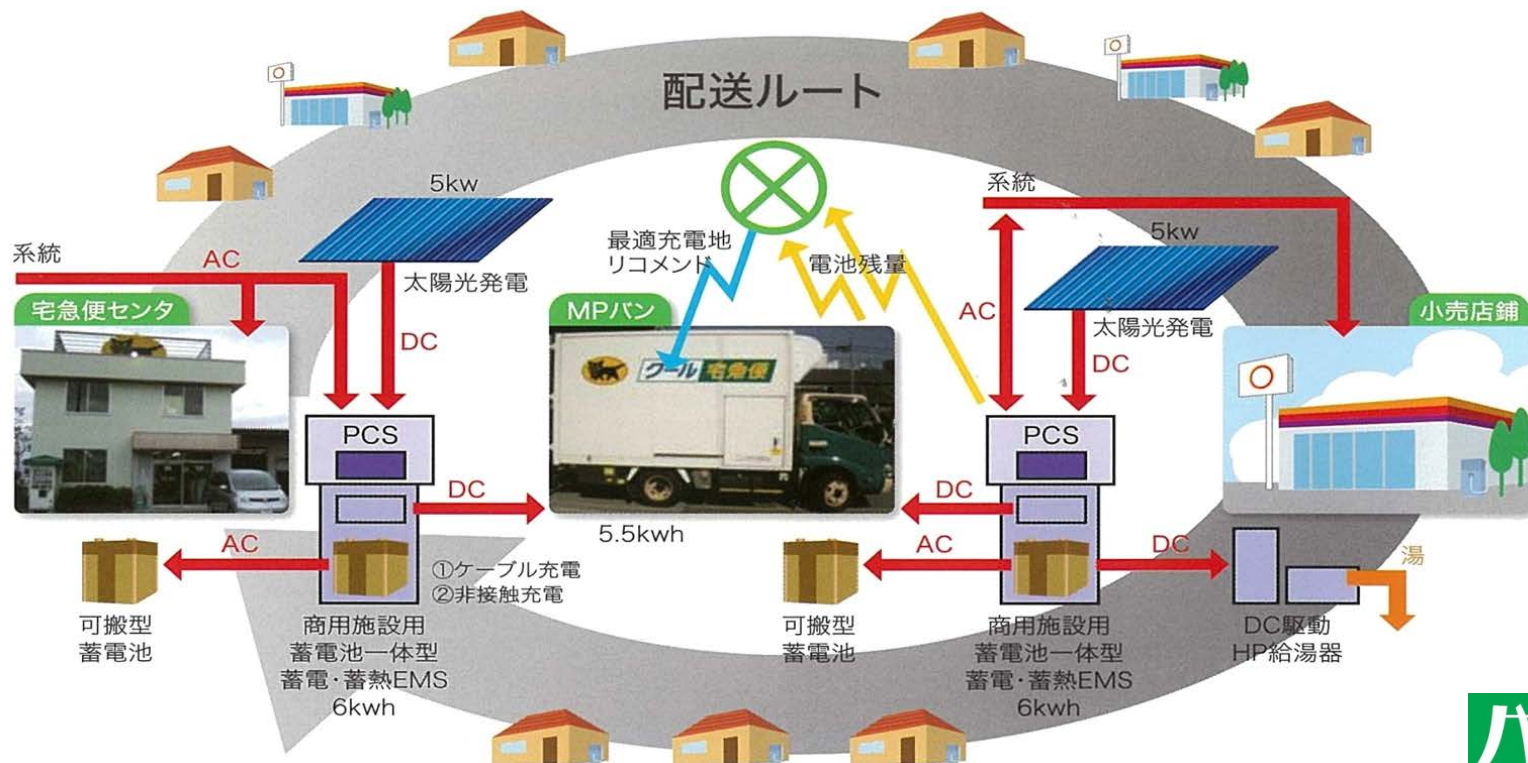
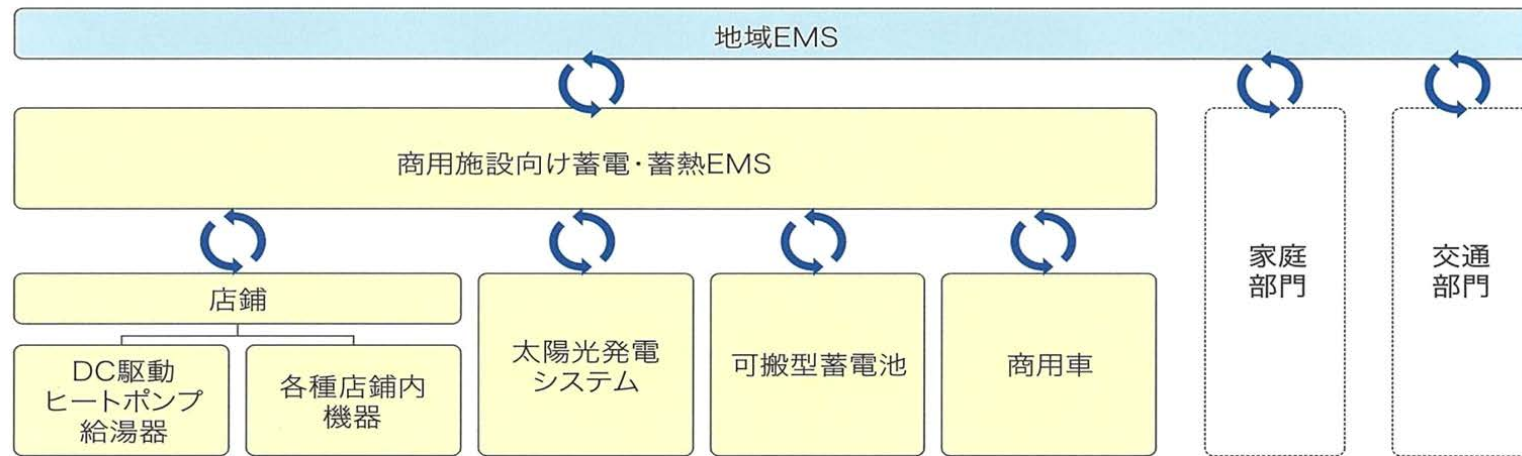
創エネ、省エネ、蓄エネ機器をHEMSで制御し、  
太陽光による電力を家庭内で最大限利用

## ② 低炭素交通システムの構築

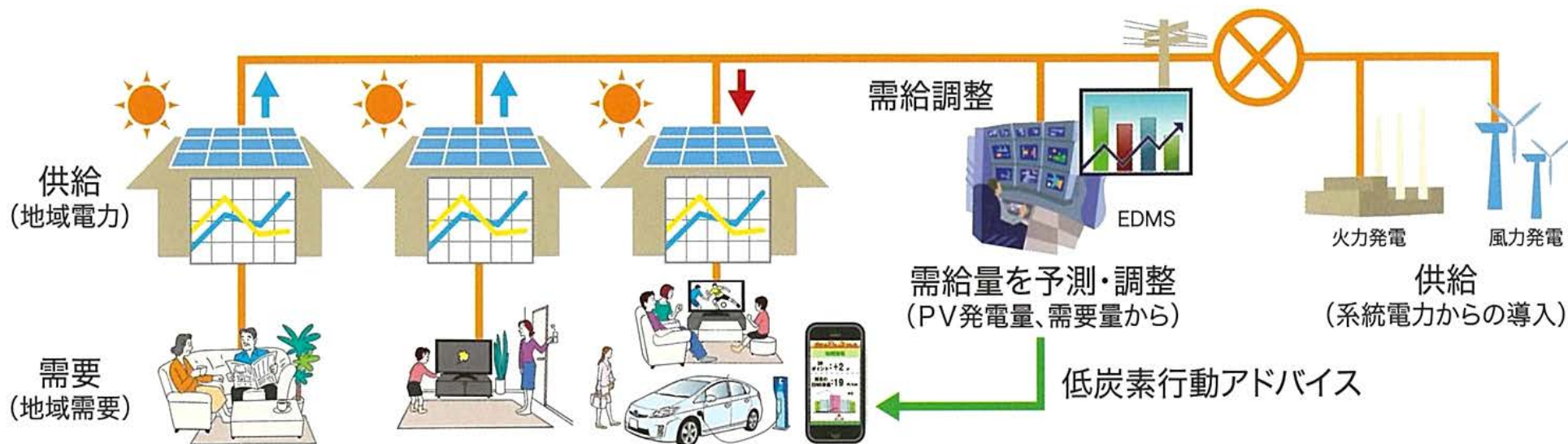


多様な交通手段により、人の移動における低炭素化を実現

### ③ 商業・公共施設等のエネルギー利用最適化

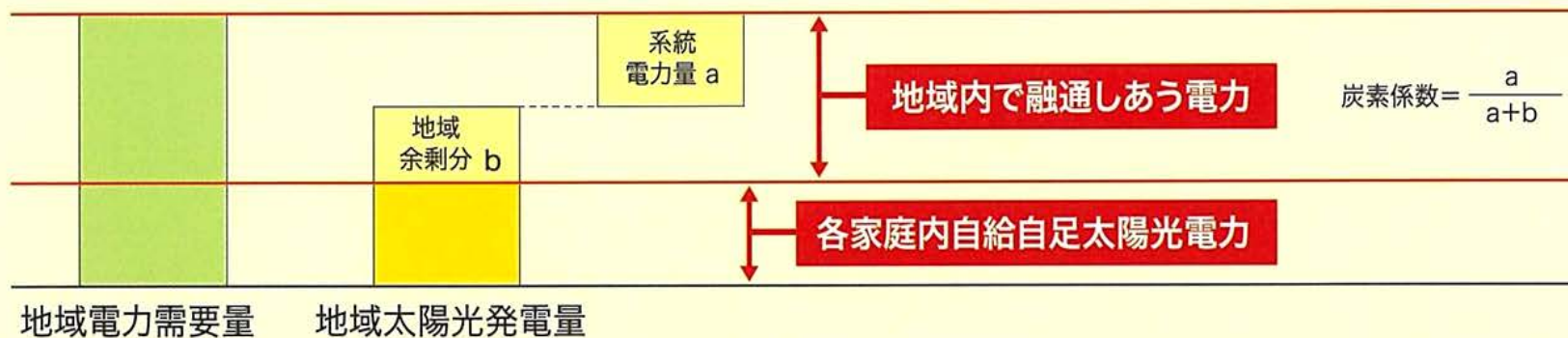


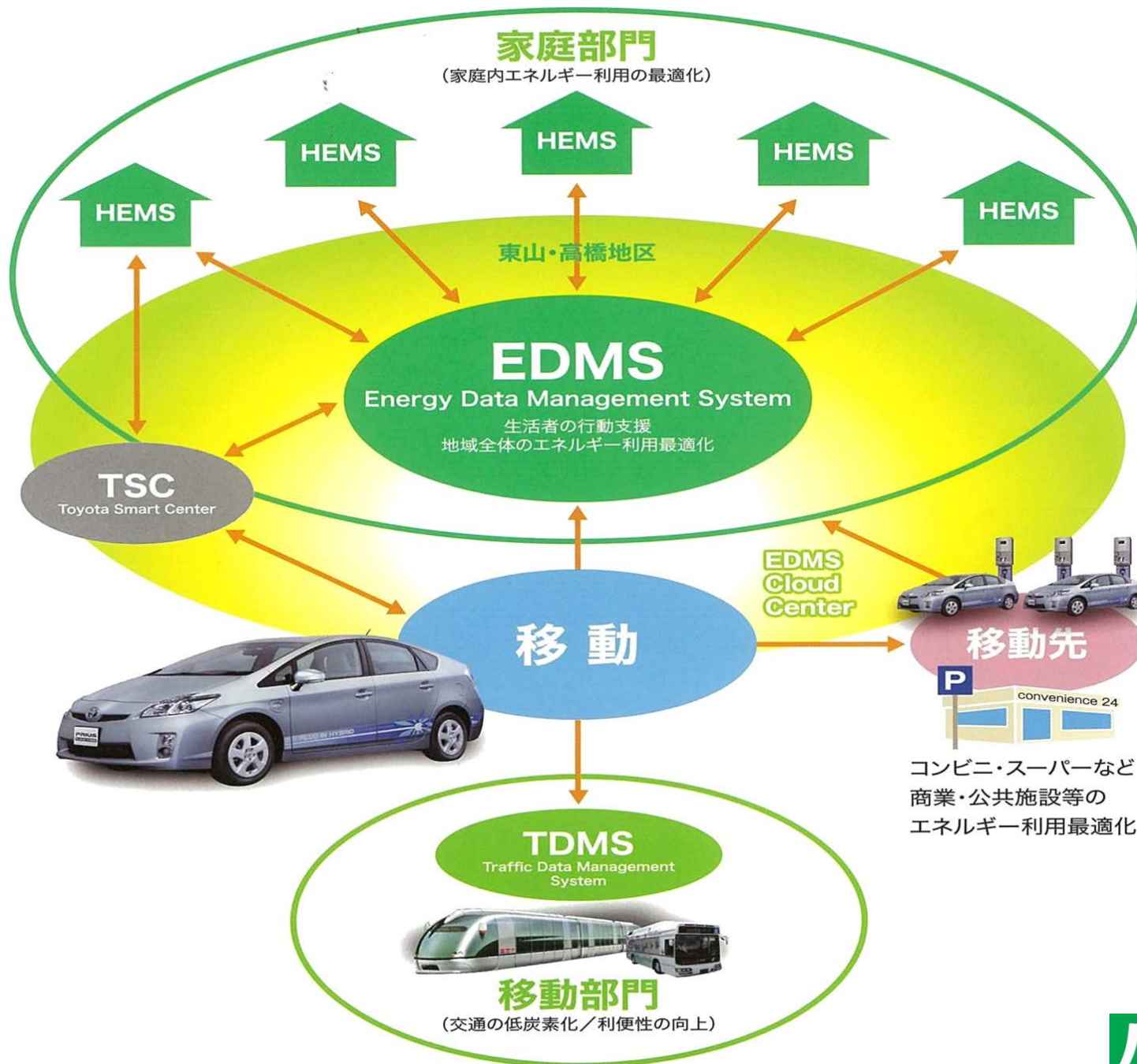
## ④ 社会全体のエネルギー利用最適化



### 電力のバランスを地域で融通できるよう調整

電力需給調整





## ⑤ 都心モデル地区 ～エコな未来の暮らしや最新の環境技術を体験～

# とよた ecoful town 豊田市低炭素社会モデル地区

環境モデル都市である豊田市は、低炭素な社会の実現に向けた取組を進めています。  
「とよた Ecoful Town」は、こうした取組をはじめ、無理のない快適なエコライフや新たな環境技術を国内外に向けて広く情報発信する拠点施設です。

最新の  
スマートハウスで  
楽エコライフ!



新しい  
交通技術を  
体験。  
こんな社会が  
もう目の前に!



太陽光エネルギーを  
蓄えたり  
自動車に使ったり  
できる!

低炭素社会  
って何?  
パビリオンで  
見てみよう!

